

老年看護学演習

[演習] 第3学年 前期 必修 1単位

《履修上の留意事項》・開講日が変則であるため、演習の具体的な運営に関しては、配付される日程表等を参照すること。
・各単元のワークシートは、教員の指示にしたがって実施し提出すること。

《担当者名》 船橋 久美子 kumi-funahashi@hoku-iryo-u.ac.jp 内ヶ島 伸也 若濱 奈々子 山田 律子
千葉 利代(衛)

【概要】

老年看護学演習は、「老年看護学」と「老年病態と看護」で学んだ知識をふまえ、事例を使った看護過程の展開や技術演習、ディスカッションを積み重ねながら、高齢者の尊厳を尊重し、その人らしい生活を支えるための多職種協働によるケアの考え方や方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 高齢者の意向や価値観、生活史をふまえ、加齢や疾患が生活機能におよぼす影響を包括的にアセスメントできる。
2. 高齢者の尊厳を尊重し、その人らしい生活を支えるための看護の焦点を考え、表現できる。
3. 高齢者の生活史をふまえ、状況に応じた多職種協働によるケアの方法を検討し、看護計画を立案・評価できる。
4. 高齢者ケアに必要な技術演習を実施し、その意義や方法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 看護過程の展開(1)	老年看護学演習の進め方 看護過程で使用する事例の理解	船橋、内ヶ島、若濱、 山田
2	看護過程の展開(2) 1～5G	情報の整理と分析	船橋
	看護過程の展開(2) 6～10G	情報の整理と分析	内ヶ島
	看護過程の展開(2) 11～15G	情報の整理と分析	若濱
	看護過程の展開(2) 16～20G	情報の整理と分析	山田
3	看護過程の展開(3) 1～5G	情報の整理と分析	船橋
	看護過程の展開(3) 6～10G	情報の整理と分析	内ヶ島
	看護過程の展開(3) 11～15G	情報の整理と分析	若濱
	看護過程の展開(3) 16～20G	情報の整理と分析	山田
4	看護過程の展開(4) 1～5G	情報の整理と分析	船橋
	看護過程の展開(4) 6～10G	情報の整理と分析	内ヶ島
	看護過程の展開(4) 11～15G	情報の整理と分析	若濱
	看護過程の展開(4) 16～20G	情報の整理と分析	山田
5	看護過程の展開(5) 1～5G	全体像の把握から看護の焦点	船橋
	看護過程の展開(5) 6～10G	全体像の把握から看護の焦点	内ヶ島
	看護過程の展開(5) 11～15G	全体像の把握から看護の焦点	若濱
	看護過程の展開(5) 16～20G	全体像の把握から看護の焦点	山田
6	看護過程の展開(6) 1～5G	全体像の把握から看護の焦点	船橋
	看護過程の展開(6) 6～10G	全体像の把握から看護の焦点	内ヶ島
	看護過程の展開(6) 11～15G	全体像の把握から看護の焦点	若濱
	看護過程の展開(6) 16～20G	全体像の把握から看護の焦点	山田
7	看護過程の展開(7) 1～5G	看護計画(多職種協働を含む)の立案・評価	船橋
	看護過程の展開(7) 6～10G	看護計画(多職種協働を含む)の立案・評価	内ヶ島
	看護過程の展開(7) 11～15G	看護計画(多職種協働を含む)の立案・評価	若濱
	看護過程の展開(7) 16～20G	看護計画(多職種協働を含む)の立案・評価	山田
8	看護過程の展開(8) 1～5G	看護計画(多職種協働を含む)の立案・評価	船橋
	看護過程の展開(8) 6～10G	看護計画(多職種協働を含む)の立案・評価	内ヶ島

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	看護過程の展開(8) 11～15G	看護計画(多職種協働を含む)の立案・評価	若濱
	看護過程の展開(8) 16～20G	看護計画(多職種協働を含む)の立案・評価	山田
9	高齢者の生活ケア(1) 1～5G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による排泄ケア	土屋隼人(特別講師)、 船橋
	高齢者の生活ケア(1) 6～10G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による排泄ケア	内ヶ島
	高齢者の生活ケア(1) 11～15G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による排泄ケア	若濱
	高齢者の生活ケア(1) 16～20G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による排泄ケア	山田
10	高齢者の生活ケア(2) 1～5G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による排泄ケア	土屋隼人(特別講師)、 船橋
	高齢者の生活ケア(2) 6～10G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による排泄ケア	内ヶ島
	高齢者の生活ケア(2) 11～15G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による排泄ケア	若濱
	高齢者の生活ケア(2) 16～20G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による排泄ケア	山田
11	高齢者の生活ケア(3) 1～5G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による食事ケア	山田
	高齢者の生活ケア(3) 6～10G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による食事ケア	船橋
	高齢者の生活ケア(3) 11～15G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による食事ケア	内ヶ島
	高齢者の生活ケア(3) 16～20G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による食事ケア	若濱
12	高齢者の生活ケア(4) 1～5G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による口腔ケア	千葉
	高齢者の生活ケア(4) 6～10G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による口腔ケア	船橋
	高齢者の生活ケア(4) 11～15G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による口腔ケア	内ヶ島
	高齢者の生活ケア(4) 16～20G	高齢者の状態をふまえた多職種協働による口腔ケア	若濱
13	高齢者の生活ケア(5) 1～5G	高齢者の状態をふまえた活動(多職種協働によるアクティビティケア)	船橋
	高齢者の生活ケア(5) 6～10G	高齢者の状態をふまえた活動(多職種協働によるアクティビティケア)	内ヶ島
	高齢者の生活ケア(5) 11～15G	高齢者の状態をふまえた活動(多職種協働によるアクティビティケア)	若濱
	高齢者の生活ケア(5) 16～20G	高齢者の状態をふまえた活動(多職種協働によるアクティビティケア)	山田
14	高齢者の生活ケア(6) 1～5G	認知症を有する高齢者とのコミュニケーション	船橋
	高齢者の生活ケア(6) 6～10G	認知症を有する高齢者とのコミュニケーション	内ヶ島
	高齢者の生活ケア(6) 11～15G	認知症を有する高齢者とのコミュニケーション	若濱
	高齢者の生活ケア(6) 16～20G	認知症を有する高齢者とのコミュニケーション	山田
15	まとめ 1～5G	高齢者の尊厳を尊重したその人らしい生活を支えるための多職種協働によるケアの考え方	船橋
	まとめ 6～10G	高齢者の尊厳を尊重したその人らしい生活を支えるための多職種協働によるケアの考え方	内ヶ島
	まとめ 11～15G	高齢者の尊厳を尊重したその人らしい生活を支えるための多職種協働によるケアの考え方	若濱
	まとめ 16～20G	高齢者の尊厳を尊重したその人らしい生活を支えるための多職種協働によるケアの考え方	山田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

ワークシート50%、定期試験(筆記試験)50%

【教科書】

山田律子・内ヶ島伸也(編)「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院, 2020.
北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第10版 医学書院, 2025.

【備考】

・授業時間中にGoogle FormsやGoogle Spread Sheets、Google Slidesを活用して、学生相互の意見交換や理解度の確認を行う。
・演習に関する連絡およびワークシートの提出にGoogle Classroomを使用する。
・過年度の学生アンケートでは、資料やスライドの分かりやすさや、グループワークを通じた能動的な学修について肯定的な評価が得られた。これらをふまえ、今年度も以下の取組を継続・充実する。

授業の進行に合わせてグループワークを取り入れ、主体的に学ぶ場面を確保する。

健康生活支援実習(老年期)の進め方を理解できるよう、授業内で看護過程の流れを示し、実習で活用可能な学修資料を提示する。

【学修の準備】

・各回の演習内容に関連する「老年看護学」と「老年病態と看護」の資料も確認しながら、事前課題に取り組むこと(1時間)。
・授業後に提示した課題に取り組むこと(1時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2. 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

船橋久美子(老人看護専門看護師)、内ヶ島伸也(看護師)、若濱奈々子(看護師)、山田律子(看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)、千葉利代(歯科衛生士)、土屋隼人(皮膚・排泄ケア特定認定看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者看護の実務経験に基づき、臨地実習に必要な最新かつ実践的知識・技術を教育する。とくに、「排泄ケア」は皮膚・排泄ケア特定認定看護師が、「口腔ケア」は歯科衛生士がそれぞれ講義を担当し、実践的な教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している